

グループディスカッション ワークシート

グループ名: C

【テーマ】「当事者が安心して生活を送るためのつながりづくり
～「つながる」ために課題となっていることを挙げ、
その具体的な取り組みについて、多様な視点で語り合おう～」

ワーク1:「つながる」ために課題となっていることを挙げよう。

現在、地域の中でどのような「つながり」があるか。

- ・ 公式、非公式問わず、相談のネットワークがある。電話だけでは顔がつながるのは難しいが、顔がつながるようなネットワークを作った。
- ・ 趣味として SNS を通じての仲間づくりを行っている。リアルとの使い分けを行い、ペンネームを用いて、つながっている。全国に広がって、コミュニケーションを取っていき、助け合いもできる。
- ・ 地域のマルシェに出店し、地域の子どもから大人まで交流を行っている。
- ・ 専門職、同業者、親同士の、無料の相談会や勉強会によるつながりがある。
- ・ 相談支援や仕事の取引先とのつながりがある。

「つながる」ために課題となっているのは、どのようなことか。

- ・ 参加メンバーが限られ、固定化してしまっている。障害を人に知られたくないという人も多く、参加を躊躇ってしまう。障害について、口にできるような環境、雰囲気づくりが必要。
- ・ ライフステージが変わっていくと支援も変わってくる。高齢分野とつながっていく必要がある。
- ・ SNS の距離感。連絡を取りすぎてしまい、振り回されてしまうことがある。使い方に注意が必要。
- ・ 関係先以外のいろいろな方とのつながり。

ワーク 2：具体的な取り組みについて、多様な視点で語り合おう

ワーク 1 を踏まえ、具体的などのような取り組みができるか。

- ・ 高齢分野との交流を持ち、支援の仕方を理解しあう。協議会に参加してもらうことはどうか。
- ・ SNS を使うにあたり、穏やか、謙虚な雰囲気を出しながら上手に活用する。名前や印象に残るようなコメントが大事。
- ・ 自分から外に発信していくことが大事。名前や病名を公表し、活動しているがこれまで嫌なことはなかった。ピアスタッフの良さが伝わると良い。
- ・ 取引先の業者に施設を実際に見学の機会を設け、施設のことや当事者のことを知ってもらい、理解してもらう。